



安藤 志保 議員

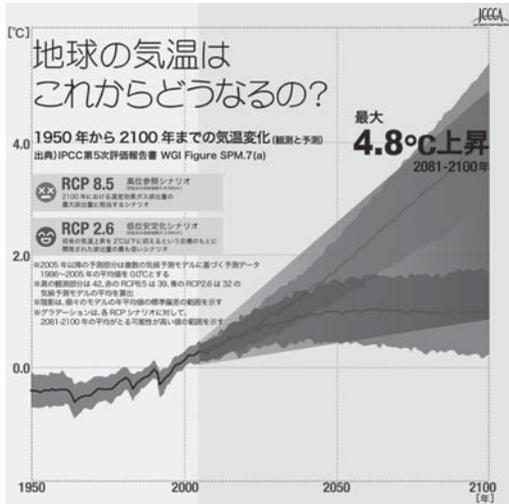
「気候非常事態宣言」について

問 気象災害が世界中で度々起きており、気候変動を引き起こす温室効果ガスの排出を減らし、ゼロにする対策が必要である。本市が示している目標に対し現状はどうか。

答 本市公共施設の二酸化炭素排出量は、平成30年度5799トンで、31年度の目標値6394トンより595トン多く削減できている。30年度は防犯灯をLEDに替えたことで、年間183トンの二酸化炭素を削減できた。

問 事業者や市民が二酸化炭素排出量を減らすために、市として行っている啓発や補助制度は効果が表れているか。

答 第2次環境基本計画の策定に当たり、事業者に向けてアンケートを行い「無料省エネ診断」を「知らない」との回答が77%、診断の実施については48%が「検討してみ



(出典) IPCC第5次評価報告書 全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト <http://www.jccca.org/>より

を考えるエネルギー環境学習を行っている。

問 国際的な合意であるパリ協定の「産業革命前からの気温上昇を2℃より十分低く保ち、1.5℃に抑える努力をする」という目標達成には、本市の二酸化炭素排出をまだ減らす必要がある。

答 気候変動は社会の安定や人権を脅かす脅威であり、気象災害を経験した本市として、気候非常事態宣言を行い、二酸化炭素排出量の削減に向けてしっかり取り組むべきではないか。

問 その他の質問事項

● 行財政改革について

議員全員協議会の概要

市長要請による議員全員協議会が8月6日、20日、9月18日に行われ、質疑応答が行われました。

※議員全員協議会とは・・・市から提出された議案を審査する委員会とは違い、市が行政上の重要課題について、議会の意見を聴くための協議会のこと。

ペアシティ三原西館再編改修工事の基本設計(案)について

【概要】 本施設の活用(案)について再編改修工事の基本設計(案)の説明があった。

①配置計画

1階 賑わいの創出に民間店舗等を誘致。テナントエリアを3区分設定。うち1区に中国労働金庫三原支店が入居予定。

2階 児童館の移設は、採光、防火等で全体の配置を見直し、850㎡を確保。多目的ホールの機能は継続し、大会議室機能を併設する。

3階 老人大学を移設。生涯学習の機能強化に取り組み。

4階 2階のまちづくり活動ルーム機能を移設。貸室機能を強化する。

②スケジュール

6月に基本設計が終了。12月頃から工事に着工。来年7月に駅前東館跡地活用事業と合わせた供用開始をめざす。



ペアシティ三原西館

問 多目的ホールには舞台はないのか。元々ピアノがあり、小さな演奏会ができるが、これからもできるのか。

答 舞台については整備の見込みはない。可動式のものを用意するか検討したい。今までと同じような演奏会等に使用できるようにしたい。今あるピアノはその場所に置いておき、引き続き利用してもらいたい。

問 名称は新しくしたほうがいいのではないか。

答 これから検討する。

問 1階の入口付近の空間は、バス待ち等の利用者が多いが、今後もこの空間の利用は可能か。

答 工事期間中は、支障にならないように、また整備後に空床となった場合、どういう使い方ができるか考えていきたい。

和歌山県新宮市との姉妹都市締結について

【概要】浅野氏入城以来400年にわたる交流の歴史があり、昨年7月豪雨の際、給水車や職員の派遣、復旧ボランティアを受けた。今後、さらなる両市間の友好と親善を深める絆の証として提携する。危機管理の強化等、協力し合える関係を構築する。

問 神社の建物等の整備・管理をどうするか。

答 行政が直接事業するのは政教分離の面から難しい。商工会議所・観光協会・漁業組合に働きかける。



熊野速玉大社を勧請し建てられた籠怒神社

問

新宮市とは、ポポロの顕彰碑にある花井卓蔵氏との関連もあるので、三原市として研究し、伝えていくのはどうか。

答 花井卓蔵氏については、本市で弁論大会をやっていた経緯もある。交流の場で触れていくことも考えたい。

三原市長期総合計画後期基本計画等の骨子(案)について

【概要】三原市長期総合計画基本構想(平成27、令和6年度)における将来像の実現に向け、令和2年度から5年間の施策の基本方針及び目標等を「後期基本計画」として策定する。

この策定にあたり、本市の人口の現状や今後の推計などを「人口ビジョン」として定めることとしているが、国から新たに示されたワークシートによる将来推計人口は、令和42年時点で、5年前の推計に比べ125人減少となっている。このような人口の減少傾向を抑制するため、特

に重点的に取り組む内容を「第2期三原市まち・ひと・しごと創生総合戦略」として、今回あわせて策定する。

問 前人口ビジョンに比べさらに下方修正されている。成果に繋がっていないのでは。総花的政策でなく独自性を持った具体的かつ有効な施策が必要では。今後5年間の取り組み強化が最も重要と考えるが。

答 人口が減ったことについては取り組み方の工夫が必要と考えている。人口減少対策として、様々な課題に的確に対応していくため、基本構想や基本計画を定め、その実現に向け取り組んでいるが、独自性を持つ特化した取り組みも必要であると考えている。今後、総合戦略を策定する。

問 取り組みとして、挑戦的施策が足りないのでは。その為には人材育成が最も重要である。人材育成に力を入れる必要がある。働く場づくりとして、国でもテレワーク、在宅ワークが言われ、近い将来働く場の考

えが変わると思うが市として試行的取り組みをしてはどうか。

答 人材育成については、様々な計画に入れてあるが体系的には課題もある。今後、研究、相談しながら検討する。働く場については、事例も研究しながら手の付けられるところから検討する。

新市建設計画の変更について

【概要】この計画は合併後の新市建設を総合的・効果的に推進することを目的として平成16年に策定したもので、過去2回計画変更をした。今回の変更内容は①計画期間の5年間延長②公共施設マネージメント推進事業の追加③財政計画の変更以上3点について計画変更するものである。

問 今後の財政と事業の見直しをどう考えているのか。

答 今回の財政計画は担当課の要求ベースで作成しており、事業の見直しは予算編成に合わせて行う。また財政計画は毎年

度見直し、事業の精査を行う。

問 前回の計画変更時と比較すると総事業費が大きく増加している。集計表だけでは、要因が分からない。

答 今回5年間延長することで、積算する事業期間が長くなり、事業費が増えた。集計表での提示は、前回と同様である。一つ一つの事業費が必要なのかは、毎年度精査していく。

新庁舎駐車場の運用について

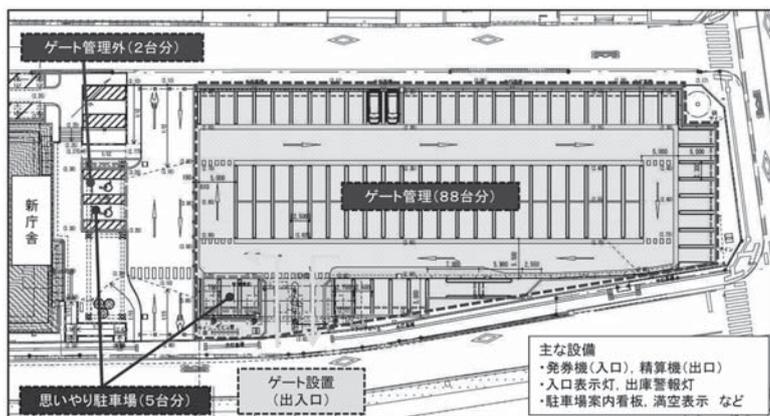
来庁者は認証処理により原則無料。一般利用者は有料とする。

問 支払にクレジットカードや、電子マネーを使えるか。

答 現金支払いが原則だが、受託業者と検討する。

問 周辺の民間駐車場と料金を揃えるほうがいいのか。

答 来庁者優先の視点から開庁時は周辺駐車場の相場より高めの料金設定を検討している。



新庁舎駐車場計画図